

後半の追い上げ半端ないって！

ケイリン&タンデム



男子史上初

甲斐激闘の軌跡



表彰式で笑顔☆
ケイリン
先頭のパースメーカーが時速30度でスタートし、徐々に50度まで加速してフィニッシュ前およそ100mで走路を離れる。



逆転でケイリン優勝
タンデム・スプリント
2人乗りの自転車に乗った2組が同じ場所からスタート。先着した方が勝つ。今大会決勝は2勝先取というルールで行われた。



ケイリンスタート
ウイニングラン

明大スポーツ

7月11日 水曜日
平成30年(2018年) 第486号
香うどん丸香

タンデムVの相棒・田川

試合前の心境
2位か3位だと思っていた。決勝は1本目でチームスプリントでケイリンで2冠をしてくれたいと思います。自分も結果を残そうと思います。

アスレシバ

アスリートのお奨めサイト
◆ケイリン・スプリント決勝◆
1 甲斐・田川組
2 鈴木・高橋組(中大)

学生史上初の偉業

荒川 9秒台
川仁(あらかわ ひとし)
王将出身、身長176cm

快挙も酷暑でV逸
今大会では甲斐、荒川以外にも展開が1.0タイムトライアルで準優勝、梅本(法2)がスクラッチで3位入賞と健闘。2位以上を輩出できなかった昨年度の同大会から躍進を遂げた。

チームのため
次はチームのためにインカレでチーム全体の目標達成のためには、自分もチームの力になりたい。ケイリンでもスクラッチでも、自分もチームのために頑張りたい。

インカレ日程

大舞台に向けて、視野良好だ。8月中旬から9月頭にかけて行われるのは、トラックとロードで各大学の総合順位を決めるインカレ。一昨年度は

ゴールラインを駆け抜ける甲斐
(撮影者：三ツ橋和希)



最高のコロンベ
この選手は全日本でも、国内でも、海外でも、中距離、長距離と活躍。田川、甲斐と、この組み合わせは、まさに最強の組み合わせ。田川、甲斐の組み合わせは、まさに最強の組み合わせ。

オフに下半身強化で高ギア克服
下半身の強化は、高ギアを克服するための重要なポイント。田川、甲斐は、オフに下半身を強化し、高ギアを克服した。

ホイスル
ホイスルは、自転車競技の重要な要素。田川、甲斐は、ホイスルを得意とし、高ギアを克服した。

甲斐俊祐選手 ケイリン 優勝
田川翔琉選手 タンデム・スプリント 優勝
甲斐俊祐選手 1kmTT 2位
梅本泰生選手 スクラッチ 3位
荒川 仁選手 スプリント予選学連記録
おめでとう！ この勢いを8月のインカレに！
駿台自転車倶楽部
後藤勇三 昭和54年卒

読み終えた新聞はお持ち帰りください